

企業も地域社会を構成する一員であり、その地域社会や行政、教育機関等と十分なコミュニケーションのもとで有効なパートナーシップを築き、社会貢献活動を推進していくことが求められています。

◎省エネコンテストの受賞(タイ)

タイの「エネルギー省代替エネルギー開発及びエネルギー保存局」は省エネルギーに関連した4種類のコンテストを実施しました。

参加工場約80工場のうち、ミネベアグループ(タイ)は以下の賞を受賞しました。

バンパイン工場では環境管理責任者ヴェティチャイ取締役が「優秀省エネ経営者賞」を受賞、ロジャナ工場は「優秀工場賞」を受賞し、ロップリ工場は「広報活動及び優秀賞」を受賞しました。

この受賞は、省エネについての日頃の積極的な取り組みの成果が実を結んだもので、ミネベアグループでは今後も継続して省エネルギー活動を積極的に推進していきます。



ヴェティチャイ取締役、「優秀省エネ経営者賞」受賞



ロジャナ工場、「優秀工場賞」受賞



ロップリ工場、「広報活動及び優秀賞」受賞

◎工場敷地内の植樹(タイ)

タイのロップリ工場では、タイ国王在位60周年の記念行事として、2006年5月11日に第4工場棟、第8工場棟及び従業員送迎バス駐車場の敷地に社員の手で植樹を行いました。



植樹された苗木とロップリ工場社員

◎通勤路の清掃(軽井沢工場)

毎年、6月の環境月間に工場周辺の通勤路の清掃を実施しています。ここでは小学生の通学路にもなっており、清掃を一緒に手伝ってくれる小学生の姿もありました。今後も地域社会への活動として継続していきます。



工場周辺の通勤路の清掃



◎通い箱の利用(エヌ・エム・ビー電子精工)

エヌ・エム・ビー電子精工では、2007年3月期に仙台市より「環境配慮型事業所 - エコにこオフィス -」に認定されました。

この事業所では、納品に使用していた使い捨ての包装資材を繰り返し利用できる通い箱に変更することで廃棄物の削減を行いました。

今後は、緩衝材の少ない通い箱やガムテープを極力使用しない通い箱の開発を行い、さらなる廃棄物削減・リサイクル率向上を目指します。

ごみ減量・リサイクルは環境に配慮した取り組みの第一歩です!

**エコにこショップ・エコにこオフィス**

**3R事例集**

仙台市では、企業への負荷が軽減される循環型社会の構築を目指し、「100万人のごみ減量大作戦」を推進し、その一環としてごみ減量・リサイクルの推進など、環境配慮型取り組みの支援・事業所を「エコにこショップ」・「エコにこオフィス」として認定・支援しています。

この事例集は、多くの認定事業所の中から、特筆的な先駆事例を紹介しています。個々の環境活動にお役立てください。

なお、この事例集の詳しい取組内容については、ツクルネット (<http://www.gom100.com/>)でも紹介します。事業者の依頼・認定申請をお待ちしています。

**商品の包装は繰り返し利用できる通い箱で**  
一紙品に繰り返し利用できるタンボール箱を推奨

使い捨ての包装資材から、繰り返し利用できる箱に替えれば、ダンボールが廃棄物とされなくなり、資源の削減と環境負荷の軽減につながります。

当社は、緩衝材の少ない緩衝材でダンボール箱で梱包し、再利用の環境を創出し、紙製・リサイクルの包装材料を使用し、工場内で発生する廃棄物は、100%をリサイクルし、再利用可能な資源として、ごみ減量・リサイクルに貢献しています。

製品輸送時の安全性を十分確保しながら、包装資材の工夫により、ごみ減量・リサイクルを実施している取り組みです。

仙台市発行の3R事例紹介のリーフレット